

US-322/US-366 USB Audio Interface

クイックスタートガイド

このたびは、TASCAM USB Audio Interface US-322/US-366をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本機は、パソコンをベースにしたデジタルレコーディングシステムの中で使用したり、パソコン、ゲーム機、ギターやシンセサイザーなどの楽器、またはマイクでのナレーションの音などを手軽にミックスして、インターネット上での生放送を行うのに最適でコンパクトなUSBインターフェースユニットです。付属のドライバーソフトには、フェーダーやつまみ、ボタンなどを配置したミキサー画面や各種エフェクト画面があり、より直感的な操作が可能です。本機はUSB電源のみで動作しますので、ノートパソコンと組み合わせることにより、非常にコンパクトなシステムを組むことができます。

本書では、本機の基本的な操作例を紹介します。詳細については、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から取扱説明書をダウンロードしてご確認ください。

本機をパソコンに接続する前に、専用ドライバーをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
	この機器のカバーは絶対に外さない カバー外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないでください。

	注意 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物の損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
	ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。 耳を刺激する様な大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪影響を与えることがあります。
	次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。 ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所 ・ 湿気やほこりの多い場所 ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

この装置は、クラスB技術情報装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。VCCI-B

その他の注意

- 次のような場所に設置しないでください。故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - ほこりの多い場所
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本機の上に物を置かないでください。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後にご使用ください。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。

梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、弊社までご連絡ください。

- 本体..... x1
- USBケーブル..... x1
- DAWソフトウェアインストールガイド..... x1
- クイックスタートガイド（本書、保証書付き）..... x1

バンドルDAW ソフトウェアのお問い合わせについて

バンドルDAW ソフトウェアにつきましては、弊社ではサポート外となります。

ご使用については、バンドルDAW ソフトウェアのヘルプメニューをご参照いただけますようお願い致します。

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「PHONES つまみ」のように太字で表記します。
- パソコンのディスプレイ上に表示される文字を《OK》のように《 》で括弧で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「メモ」、「注意」として記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Windows 7 および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS、Mac OS X、および iTunes は、Apple Inc. の商標です。
- VST は Steinberg Media Technologies GmbH の登録商標です。ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

<https://tascam.jp/jp/login>

ドライバーソフトをインストールする

本機を使用するには、パソコンにドライバーをインストールする必要があります。

ドライバーはTASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードしてください。

注意

インストール終了後にパソコンの再起動が必要になることがあります。必要に応じてデータのセーブなどを行った上で他のアプリケーションを終了させてください。



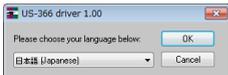
Windows 用ドライバーのインストール

注意

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にドライバーをインストールしてください。すでにUSBケーブルを接続して《新しいハードウェアの検出ウィザード》が起動してしまっている場合には、ウィザードをキャンセルして終了した上で、USBケーブルを抜いてください。
- ドライバーのインストール中に、《Windows ログテストに合格していません...》という警告が表示されることがあります。このメッセージが表示されたときは、《続行》をクリックしてインストールを続けてください。

ドライバーのインストール手順

- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
- 保存したドライバー (zipファイル) をデスクトップなどに解凍してください。
- 解凍して生成されるフォルダー内にある《setup.cmd》をダブルクリックして、インストールを開始します。
- しばらくすると言語選択の画面が表示されますので、上下カーソルキーを使用して希望の言語を選択し《OK》ボタンをクリックします (以降は日本語を選択した場合の画面およびボタン名による説明になります)。



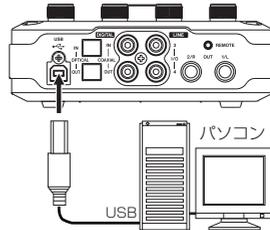
- 次の画面が表示されたら、《USB-AUDIOインストール》ボタンをクリックします。



- 使用ライセンス許諾契約書の内容を確認し、《使用許諾契約の条項に同意します》を選択します。次に《インストール》ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



- 次の画面が表示されたら、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



注意

電源を入れるときには、本機のLINE OUTつまみ、およびPHONESつまみを下げた状態 (「MIN」) で行ってください。モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

- 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。《再起動》ボタンをクリックします。インストーラーを終了し、パソコンを再起動します。



Mac OS X用ドライバーのインストール

メモ

- パソコンにUSBケーブルで接続する前にドライバーをインストールしてください。
- Gatekeeperの設定により、インストール中に警告画面が出ることがあります。Gatekeeperについては、取扱説明書 第3章「インストール」の「Gatekeeperについて」取扱説明書をご参照ください。

ドライバーのインストール手順

- TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新のドライバーをダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。

2. 保存したドライバーのディスクイメージファイル (《TASCAM_US-322_US-366_driver_X.XX.dmg》ファイル) をダブルクリックし、開いたフォルダー内の《TASCAM_US-322_US-366 X.XX》をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

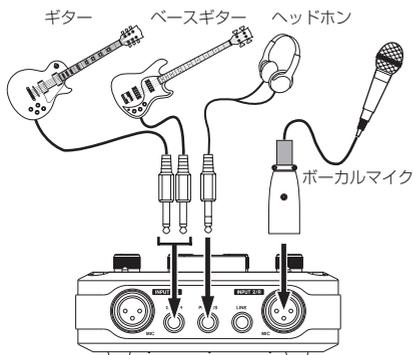
3. インストーラーが起動するので、その後は画面の指示にしたがってインストーラーを進めます。



パソコンを再起動すると、ドライバーのインストールは完了です。

外部機器を接続する

フロントパネル



マイクはXLR、ギターはINPUT 1/Lチャンネルに接続します。

注意

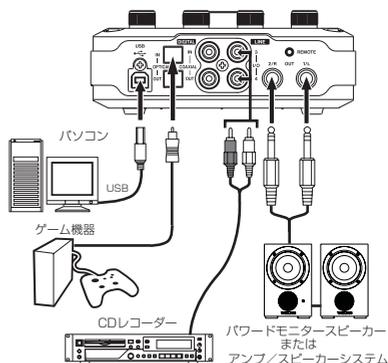
- ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 48Vスイッチのオン/オフ切り換えは、PHONESつまみとLINE OUTつまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。

- 48Vスイッチをオンにした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、48Vスイッチをオンにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合はリボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- 48Vスイッチをオンにすると、バッテリー電源のノートパソコンを使って本機を駆動している場合、パソコンの電源の消費が早くなります。

メモ

本機には、INPUT 1/L、INPUT 2/Rのそれぞれに2つの入力端子 (XLRとTRS) があります。これらのアナログ入力端子には同時に信号を入力しないでください。同時に信号を入力すると、信号が本機に正しく入力されません。

リアパネル



注意

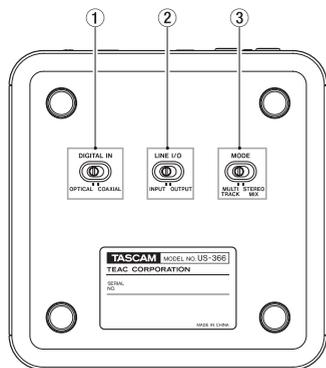
USB 1.1には、対応していません。

メモ

US-366のDIGITAL IN / OUT端子は、24ビット / 192kHzの同時入出力に対応しています。

本体の設定をする

本機のボトムパネルには、US-366では「DIGITAL IN、LINE I/O MODE」、US-322では「MODE」の選択スイッチがあります。



注意

これらの操作を行うときは、アプリケーションを閉じてUSBケーブルを本機から抜いた状態で行ってください。

① DIGITAL INスイッチ (US-366のみ)

デジタルの入力に同軸ケーブルを使うときは「COAXIAL」に、光ケーブルを使うときには「OPTICAL」に設定してください。

メモ

同軸ケーブルと光ケーブルの同時入力はできません。

② LINE I/Oスイッチ (US-366のみ)

リアパネルのRCA端子を出力に使うときは「OUTPUT」に、入力に使うときは「INPUT」に設定します。

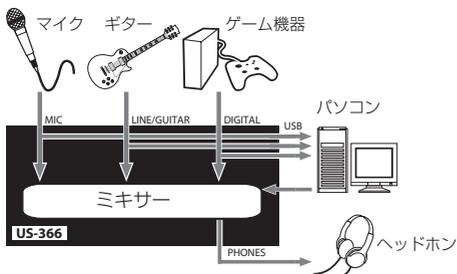
③ MODEスイッチ

本機への入力音とパソコンから出力した音をミックスした後にパソコンに返す/返さないを切り換えられます。状況に応じて切り換えてください。

MULTI TRACKモード：

各入力はミキサーに入ると同時にUSB経由で別々のチャンネルとしてパソコンに送られます。ミキサーからはステレオで出力され、スピーカーやヘッドホンから聴くことができます。

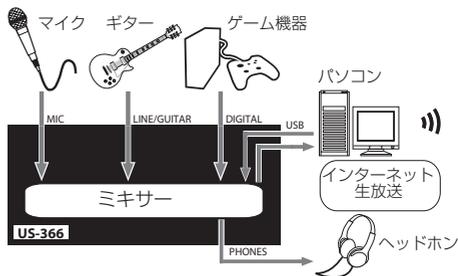
使用例：DAWなどを使用する場合



STEREO MIXモード：

各入力はミキサーに送られ、ミキサーからのステレオ出力がUSB経由でパソコンに送られます。またミキサー出力はスピーカーやヘッドホンからも聴くことができます。

使用例：インターネットの生放送などを行う場合



USBケーブルを接続する

これらの設定が終わったら、USBケーブルを接続してください。

注意

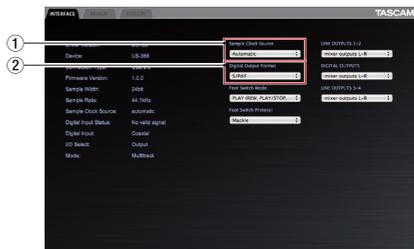
USB 1.1には、対応していません。

ドライバーソフトの設定をする

本機のトップパネルにあるMIXER PANELボタン（次項を参照）を押して、パソコンのディスプレイ上にミキサーパネルを表示します。

INTERFACE画面の設定

ミキサーパネル画面には3つのタブ画面があり、その中の《INTERFACE》タブを選択して下記の《INTERFACE》画面を表示します。



① Sample Clock Source

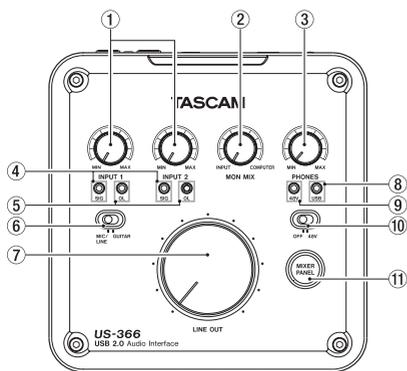
通常は、《Automatic》に設定します。

② Digital Output Format

通常は、《S/PDIF》に設定します。プロ機器などで《AES/EBU》にする必要がある場合には設定を変更してください。

他の設定項目については、取扱説明書をお読みください。

入力音を聴く



① INPUT 1 / つまみ

INPUT 1/L, INPUT 2/Rの入力レベルは、それぞれの調節つまみ (INPUT 1, INPUT 2) で行います。OL (オーバーロード) インジケータが点灯しないように調節してください。

② MON MIXつまみ

本機の入力音とUSB経由で入力されたパソコンの再生音のバランスを調節します。

③ PHONESつまみ

ヘッドホン出力端子 (PHONES) からの出力レベルを調節します。

④ SIGインジケータ

各チャンネルに信号が入力されている (-30dBFS以上) ときに点灯します。

⑤ OLインジケータ

入力が歪む直前 (-2dBFSを超えた場合) で点灯します。

⑥ MIC/LINE/GUITAR切り換えスイッチ

LINE/GUITAR入力端子にギターやベースなどを接続する場合は、スイッチを「GUITAR」側にしてください。その他は「MIC/LINE」側にしてください。

⑦ LINE OUTつまみ

ライン出力端子 (OUT 1/L, OUT 2/R) からの出力レベルを調節します。

⑧ USBインジケータ

USB接続が有効なときに点灯します。

⑨ 48Vインジケータ

48Vスイッチを「48V」側にするとインジケータが点灯します。

⑩ 48Vスイッチ

MIC入力端子にファントム電源を供給するためのスイッチです。スイッチを「48V」側にすると、その上の48Vインジケータが点灯します。

⑪ MIXER PANELボタン

このボタンを押すと、パソコンのディスプレイ上にミキサーパネルを表示します。

注意

- ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になることがあります。
- 48Vスイッチのオン/オフ切り換えは、PHONESつまみとLINE OUTつまみを下げた状態で行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、他の機器または人体を損傷する恐れがあります。
- 48Vスイッチをオンにした状態でマイクの抜き差しをしないでください。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクを使用する場合のみ、48Vスイッチをオンにしてください。
- アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給しないでください。
- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合はリボンマイクにファントム電源を供給しないでください。
- 48Vスイッチをオンにすると、バッテリー電源のノートパソコンを使って本機を駆動している場合、パソコンの電源の消耗が早くなります。

ミキサーパネルでミキサー機能を使う

本機のトップパネルにあるMIXER PANELボタンを押して、パソコンのディスプレイ上にミキサーパネルを表示し、《MIXER》タブを選択して下記の《MIXER》画面を表示します。



① パンスライダー

ノブを左右にドラッグして各チャンネルの定位を設定します。センター (C) になっているときは青色、それ以外はオレンジ色で表示されます。

② チャンネルフェーダーおよびマスターフェーダー

ノブを上下にドラッグして各入力のみックスバランスを調節します。また、MASTER L/Rフェーダーを使用して、ミキサーの出力レベルを調節します。

上記以外の設定内容について、詳しくは取扱説明書 第5章「US-322 / 366 ミキサーパネルの設定」の「《MIXER》タブ画面」をご参照ください。

パソコンの設定をする

Windows および Windows Media Player

ここでは、Windows 7 での設定方法を説明します。他のOSの場合には、取扱説明書 第6章「アプリケーションガイド」をご参照ください。

1. 全てのアプリケーションを終了し、《スタート》より《コントロールパネル》を開きます。
2. 《サウンド》を開きます。

メモ

上記項目が見当たらない場合は、《ハードウェアとサウンド》をクリックした後に表示されます。



サウンド

3. 《再生》タブをクリックし、《スピーカー TASCAM US-322》（または《スピーカー TASCAM US-366》）をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。
このとき、緑のチェックマークが《スピーカー TASCAM US-322》（または《スピーカー TASCAM US-366》）に移動します。



インターネットで生放送を行うなど本機を録音デバイスとして使う場合に、次の設定も行ってください。

録音タブをクリックし、《ライン入力 TASCAM US-322》（または《ライン入力 TASCAM US-366》）をクリックし、《既定のデバイスとして設定》をクリックします。このとき、緑のチェックマークが《ライン入力 TASCAM US-322》（または《ライン入力 TASCAM US-366》）に移動します。

4. 《OK》をクリックします。

5. Windows Media Playerを起動し、オーディオファイルの再生を行ってください。

メモ

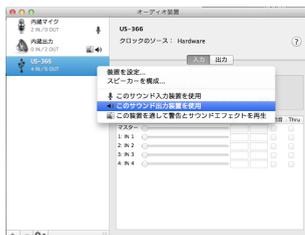
- この設定を行うと、本機経由で音は出ますが、パソコンのスピーカーやPHONES端子からは音が出なくなります。
- Windows Media Playerを起動した状態で設定を行った場合は、Windows Media Player側でデバイスの切り換えが認識されません。この場合、Windows Media Playerを再起動してください。
- 上記設定／操作を正しく行っても音が出ない場合は、パソコンを再起動してください。

- Windows Media Playerの出力を本機のDIGITAL OUT端子から出力したい場合は、ミキサーパネルのINTERFACEタブ画面で《DIGITAL OUTPUTS》を《Computer 1-2》に設定してください。

Mac OS XおよびiTunes

ここでは、OS X Mountain Lion (10.8) での設定方法を説明します。他のOSの場合には、取扱説明書 第6章「アプリケーションガイド」をご参照ください。

1. 《アプリケーション》フォルダーの中の《ユーティリティ》フォルダーの中にある《オーディオMIDI設定》をダブルクリックして起動します。
2. 《オーディオ装置》を開き、《US-322》（または《US-366》）が選択された状態で《US-322》（または《US-366》）をコントロールキーを押しながらクリックして表示される《このサウンド出力装置を使用》をクリックします。スピーカーのマークが《US-322》（または《US-366》）に移動します。



インターネットで生放送を行うなど本機を録音デバイスとして使う場合には、次の設定も行ってください。

《オーディオ装置》を開き、《US-322》（または《US-366》）が選択された状態で《US-322》（または《US-366》）をコントロールキーを押しながらクリックして表示される《このサウンド入力装置を使用》をクリックします。

マイクのマークが《US-322》（または《US-366》）に移動します。

3. iTunesを起動し、オーディオファイルを選択して再生を行ってください。

メモ

iTunesの出力を、ミキサー機能を通さずに本機のDIGITAL OUT端子から出力したい場合は、ミキサーパネルのINTERFACEタブ画面で《DIGITAL OUTPUTS》の《Computer 1-2》に設定してください。

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47



0570-000-809

● 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858



0570-000-501

● 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用いただけない場合

電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (2) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

- (5) 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
 - (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
 6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

保証書

品名 および 形名	USB Audio Interface US-322/US-366	
機番		
保証期間	本体	1年
お買い上げ日	年	日
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

見本

販売店	
電話	()

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：0570-000-501/04-2901-1033